

- 11月7日、11月13日、11月18日、12月7～8日、12月17日
- (ウ) 調査員 高橋哲夫(郡山女子大)、根本博(安積疏水土地改良区)、相原秀郎(郡山市教育委員会)、鹿野正男(開成館)、大内寛隆、若林伸亮、守谷早苗(以上文化施設整備室)
- (ク) 調査概要 標記テーマについて、歴史、土木、建築、民俗の各分野にわたる総合調査をし、次の各項について成果を得ることができた。開拓農家の所在確認および復元調査、地元出身技術者の系譜確認、開拓村農業経営の調査、疏水開削技術の確認、真製社の経営状況の調査
- エ 山村習俗民俗資料調査
- (フ) 調査地域 南会津郡南郷村木伏地区  
東白川郡古殿町竹貫地区
- (イ) 調査期間 第1次 昭和60年5月8・9日  
第2次 同 5月27・28日  
第3次 同 7月23～27日  
第4次 同 8月6～10日  
第5次 同 11月5～8日  
第6次 同 11月12～16日
- (ウ) 調査員 筑波大学助手 飯島吉晴、山口大学講師 湯川洋司、筑波大学技官 小熊誠、文化課文化施設整備室 佐々木長生、菊池健策、佐治靖
- (ク) 調査協力 南郷村教育委員会、南郷村木伏地区、古殿町教育委員会、古殿町竹貫地区
- (オ) 調査概要 会津の山村である南郷村木伏と、阿武隈の山村である古殿町竹貫を調査地に、そこに展開する生業、年中行事、村落組織などの民俗全般を調査し、山と人々の関わり方について考察を試みた。

(6) 県立博物館減びゆく伝統技術復元調査

ア 湿地農耕技術復元調査

- (フ) 調査地域 会津若松市湊町、郡山市湖南町
- (イ) 調査期間 第1次 昭和60年4月15～16日  
第2次 同 4月22日  
第3次 同 4月28日  
第4次 同 5月9日～10日  
第5次 同 5月29日～30日  
第6次 同 6月11日～13日  
第7次 同 7月16日  
第8次 同 10月29日  
第9次 同 11月20日

- (ウ) 調査主体 福島県教育委員会
- (ク) 調査員 佐々木長生、菊池健策、佐治靖
- (オ) 調査協力 斎藤邦雄、大竹美秋、大竹徳衛、橋本武、山川政右エ門、会津若松市教育委員会、郡山市教育委員会、会津若松農業改良普及所、福島県農業試験場

- (カ) 調査概要 本県猪苗代湖南、湖西地方で行われてきた湿地における伝統的な稲作栽培技術を記録するために、地元の方々に昔ながらの装束、農耕用具を用いて実演してもらい、それをビデオ・写真等により収録した。

イ 救荒食物調理法復元調査

- (フ) 調査地 南会津郡館岩村水引
- (イ) 調査期間 第1次 昭和60年5月10日  
第2次 同 10月21日  
第3次 同 11月21・22日
- (ウ) 調査員 南郷村史編さん室長 安藤紫香、文化課文化施設整備室 佐々木長生、菊池健策
- (ク) 調査協力 館岩村教育委員会 茂田茂、茂田チセ
- (オ) 調査概要 天候不順などの飢饉の際や、恒常的な不足を示した主食の補食として重要な意味を持っていた、山野の木の実や根などの救荒食物に注目し、忘れられようとしているその調理法を復元した。今回の調査では、栃粥、栃餅のつくりかた、クズの調理法を復元、実演してもらいビデオで記録した。

(7) 県立博物館収蔵資料の購入

県立博物館に収蔵する資料として、次の資料を購入した。

資 料 名	点 数
紺紙金泥妙法蓮華経(唐草蒔絵経箱添)	1
木造百万塔(自心印陀羅尼付)	2
絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	1
五十嵐家藏、山水人物図屏風など第二次分	120
妙沢筆不動明王二童子像	3
木彫毘沙門天立像	1
草花蒔絵螺鈿洋櫃	1